

05

宿泊・輸送等

オリンピック・パラリンピックでは国内外から多くの選手、観客、メディア、大会の関係者が札幌を訪れます。大会ではこれらの方々に円滑なサービスを提供するとともに、市民の皆さまにとっても安心、安全な生活環境を維持できる計画を検討します。

宿泊

❁ 多様な宿泊ニーズへの対応

札幌市の宿泊施設は30,000室以上の多様な客室を備えており、世界中から来訪する多数の大会関係者を収容する能力を有しています。

多くの大規模イベントや国際スポーツイベントを受け入れてきた経験を活かし、大会関係者や観客の多様なニーズに応えるおもてなしを提供します。

大会開催を契機とした共生社会の実現に向けて、宿泊施設のバリアフリー化を促進する取組を進めます。



輸送

❁ 誰にとっても快適な移動環境の提供

選手等大会関係者については、専用車両の使用やオリンピック優先レーンの設定等により、確実に輸送を行います。

観客については、公共交通ネットワークの活用や競技会場と交通拠点を結ぶシャトルバスの運行等により、円滑な輸送を行います。また、駅や経路のバリアフリー化を進め、あらゆる方が利用しやすい環境整備を進めます。

大会関係者や観客の移動に伴う交通混雑を緩和するため、交通需要マネジメントの推進やICTの活用により、良好な交通環境の維持に努めます。



その他(安全対策等)

❁ 東京2020大会等の知見を活かした安心・安全な大会の実現

警察、消防、自衛隊、民間警備会社等と連携し、テロの未然防止や大規模災害発生時における体制を整え、大会関係者や観客、市民の皆さまにとっても安心安全な競技実施や観戦を保証します。

医療機関との連携を密に行い、通常のサービス水準を落とさずに大会関係者や観客にも安心して医療サービスを提供できるような体制を構築します。

万が一感染症が発生した場合も、東京2020大会や他の国際競技大会、スポーツイベントでの取組状況を踏まえ、影響を最小限に抑えて開催できる対策を検討します。

